

下諏訪宿湯田町のまちづくりの歩み

下諏訪宿湯田町まちづくり協議会
会長 一村幸正

1.活動のスタート

湯田町のまちづくりは平成18年から設立準備会を経て、設立総会によってスタートしました。まちづくり協定の締結、私たちのまちづくりの目指す姿を描いた「まちづくり憲章」を制定しました。

下諏訪宿湯田町 まちづくり憲章

下諏訪宿湯田町まちづくりの目指す姿を皆で共有し皆で勉強し、皆で考え、知恵・アイデアを出し合いその実現に向けて、努力することを誓いここにまちづくり憲章を制定する。
坂のある、歴史がいきづく、文化の香り高い、いで湯の里にふさわしいまちづくりを目指します。

1. 「和」を基調とした中山道の坂の風情があるまちづくり
2. 安全にゆっくり散歩・入浴のできるまちづくり
3. 緑あふれる環境に優しいまちづくり
4. 老いも若きも皆が楽しめるまちづくり
5. 親しみと対話のあるまちづくり

どんな活動をしたらよいか手探りの中で、最初に手掛けたのがプランターの植栽です。下諏訪町から間伐材の支給を受け、写真のような木枠を手作りしました。皆で汗を流すことにより、失い掛けていた地域の「絆」を取り戻すことが出来たのもこの頃です。プランターはお陰様で大変評判が良く、現在も年に2回季節の花を植栽して観光客の皆さん等道行く人々に喜ばれています。



2.屋号灯の設置



毎年1回中山道の宿場・街道を中心に先進地の視察研修旅行を日帰りで行っておりますが、そんな研修の成果として生まれたのが屋号灯です。江戸末期から大正初めまでのそれぞれの屋号を調べ、屋号灯を手作りして、玄関先に設置いたしました。これも宿場の風情に非常にマッチした仕上がりとなり、夕方から点灯したまちなみは、多くの皆さんに満足していただいております。是非お出かけいただいでその風情を味わっていただければと思います。

3.道路の美装化と無電柱化

下諏訪町街なみ環境整備事業により、湯田町宮街道線の無電柱化及び美装化は平成22年2月から測量を開始し、約一年を掛け検討を重ね、平成23年2月から工事に着手しました。この宮街道線は番屋跡から坂上まで約140メートルあります。無電柱化の方法を種々検討しましたが、道路の幅員が狭く、費用がかさむ等の理由により、残

念ながら完全無電柱化は断念しました。道路南側にはみ出していた電柱を整理し、沿線の皆様のご理解とご協力をいただき、民地に移設することが出来ました。道路北側の電柱は全て撤去し、142号線からの裏配線により、蜘蛛の巣状に道路を横断する電線を全て撤去することが出来ました。



工事前



工事後

道路の美装化では、側溝を全て入れ替え、車道はアスファルト舗装、歩道は石畳風に仕上げしております。この事業は正に官民一体となった活動の結果、道路が広がり、天高い空間をいただき、素晴らしい景観を実現することが出来ました。お陰様でこれまでの活動が認められ、平成24年度まちづくり月間まちづくり功労者国土交通大臣賞をいただくことができました。

4.今井邦子文学館の管理・運営

協議会発足当初から私たちの活動の拠点となる「集会所が欲しいネ」との声が上がり、町内にある今井邦子文学館をお借りしたいということで、下諏訪町教育委員会にご相談した所、快く貸していただけることになりました。当初は役員会等で集会所として利用させていただいておりましたが、平成20年4月からは、管理運営も任せられ、今年で7年目を迎えます。管理は協議会会員が当番であたり入館者にお茶とお菓子、漬物でおもてなしをして楽しんで交流しております。下諏訪町のイベント三角八丁・ひな街道祭りにも積極的に参加し、今年度4月からは無料化になりましたので、多くの来館者を迎え賑わうと同時に、今井邦子という歌人の理解を深めていただいております。4月から7月までの総入館者数1,752名（前年度比+386名）



5.今後の活動の進め方

今までの私たち協議会の活動と旦過の湯の改築と相まって湯田町のまちなみは、お陰様で多くの皆様方のご理解とご協力により、写真の様な宿場の風情を感じられるまちなみに順調に進めることができました。経済環境も厳しく、協議会会員の高齢化も進み、活動も難しくなっておりますが、まちづくり憲章にある目指す姿の実現に向け一歩一歩進めてまいりたいと思っております。